



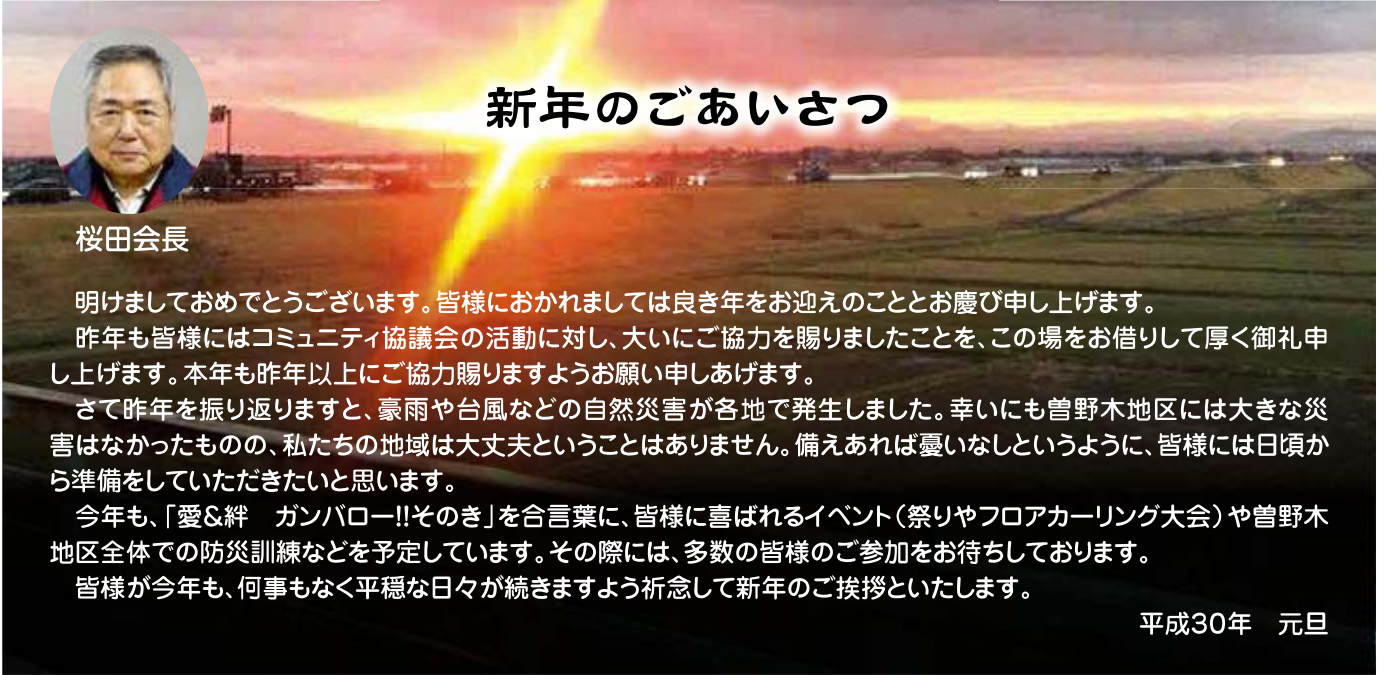
愛 & 絆 ガンパロー!! そのき 曾野木地区コミュニティ協議会だより

第3号

平成30年1月1日

事務所：新潟市江南区天野2丁目7番2号 曾野木地区センター3階 TEL/FAX 025-280-4175

曾野木地区人口：10,730人 世帯数：4,313世帯 平成29年10月末現在（住民基本台帳による）



新年のごあいさつ

桜田会長

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては良き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も皆様にはコミュニティ協議会の活動に対し、大いにご協力を賜りましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。本年も昨年以上にご協力賜りますようお願い申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、豪雨や台風などの自然災害が各地で発生しました。幸いにも曾野木地区には大きな災害はなかったものの、私たちの地域は大丈夫ということはありません。備えあれば憂いなしというように、皆様には日頃から準備をしていただきたいと思います。

今年も、「愛&絆 ガンパロー!!そのき」を合言葉に、皆様に喜ばれるイベント(祭りやフロアカーリング大会)や曾野木地区全体での防災訓練などを予定しています。その際には、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

皆様が今年も、何事もなく平穏な日々が続きますよう祈念して新年のご挨拶といたします。

平成30年 元旦

曾野木地区公共施設再編計画の骨格固まる

【背景】

曾野木地域では、市営住宅跡地活用の検討や、曾野木・第二曾野木保育園の老朽化による統合の検討をきっかけとして、実行計画の策定に着手し、平成28年10月から翌年5月まで全4回開催されたワークショップなどで得られた成果をもとに、実行計画を策定しました。

市営住宅跡地に複合化される機能

- ・曾野木 + 第二曾野木保育園（統合）
- ・コミ協事務室 + 活動スペース（新規整備）
- ・交流スペース（新規整備）

◎ 産業振興センター

◎ 新潟中央IC

◎ 新潟テルサ

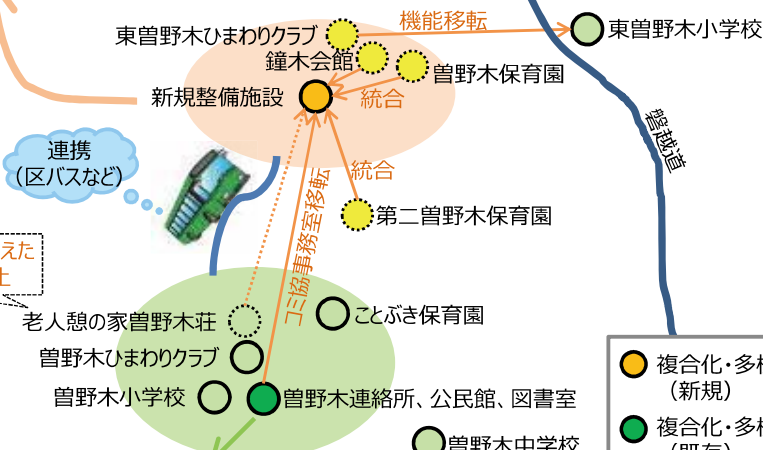
◎ アイスアリーナ

北陸道

日本海東北道

【再編の実施時期】

主要な施設の再編は、平成35年度を目途に実施することとします。
また、新規整備施設の基本構想など詳細な検討の進捗状況や財政状況などにより、再編時期や内容について適宜見直しを行うこととします。



連携
(区バスなど)

耐用年数を迎えた
時点で廃止

老人憩の家曾野木荘

曾野木ひまわりクラブ

曾野木小学校

コミ協事務室移転

【今後の進め方】

実行計画策定の検討と同様に、計画の実施にあたっては、地域や施設利用者などに意見聴取を行いながら進めます。

現在の公民館周辺に存続する機能

- ・地区公民館 + 図書室
- ・連絡所

※公民館に仮拠点を置くコミ協事務室が移転後、こどもの居場所に転用

- 複合化・多機能化（新規）
- 複合化・多機能化（既存）
- 売却・貸付
- 存続
- 廃止・解体

区長との懇談会（平成29年8月23日）

曾野木地区の課題について、 米山区長はじめ区役所各課長と意見交換しました。

- ①曾野木市営住宅跡地利用の促進
- ②福祉の後退にならないような諸施策の実施
- ③公園線延伸の早期実現と関連諸課題の実現
 - ・アクセス道路の改良
 - ・楚川排水路（仮称）の新設
 - ・区バス空白エリアの解消
- ④曾野木団地・曾野木ニュータウン東側道路の歩道整備
- ⑤バス停（待合所）の新設（修繕）に対する補助金制度の導入
- ⑥水害対策用救命ボートの配備 など



交流・連帯部会の活動



帆刈部会長

交流・連帯部会は、地域の交流拡大・連帯感醸成、地域の文化スポーツの振興及び青少年健全育成を目的に、教育関係団体が中心になって活動を行っている部会です。

発足2年目の今年度は、「曾野木地区あいさつ運動」と前年度好評だった「フロアカーリング大会」をメイン事業計画として活動を展開してきました。

また、曾野木地区の各種団体の行事予定を掲載した、「地域カレンダー」を年3回発行しました。

これからも、曾野木地区の住民の皆様方から喜ばれる活動を進めていきたいと考えておりますので、皆様方の更なるご支援・ご協力をお願いいたします。

曾野木地区あいさつ運動

曾野木地区あいさつ運動は、曾野木小学校・東曾野木小学校・曾野木中学校、3校の校長先生のご理解・ご協力にいただき取り組みました。

この取り組みは、曾野木地区が明るく元気な住み良い町として、益々発展して行く事を願って、今後も継続していく考えです。

①「あいさつ運動」を地域全体で展開する観点から、生徒及び地域住民から標語の募集

◆入選作品（最優秀賞1点、優秀作品3点）はポスターを作成、学校などの公共施設、各町内の掲示板、民間協力会社などに掲示

入選作品等は前号（協議会だより第2号）で紹介済

②「あいさつ運動」を盛り上げるため、のぼり旗の作成

◆あいさつ運動期間中、通学路等に設置

◆各自治会長、交流・連帯部会員、青少年育成協議会役員は、登校時各小学校に出向き「あいさつ運動」を実施
また、初日と最終日には中学生が各小学校に出向き「あいさつ運動」を実施

春のあいさつ運動



東曾野木小学校

6月27日（火）～7月4日（火）

秋のあいさつ運動



曾野木小学校

10月3日（火）～6日（金）、10日（火）



第2回フロアカーリング大会 11月19日（日） 東曾野木小学校体育館 24チームが参加



ハッピービーンズによるオープンセレモニー



1位	チーム Kyu-zow (キューゾー)
2位	俵柳フロッカーズ
3位	瑛大・咲希連合チーム
4位	あさひジャパン チーム鍋湯 曾野木育成協

曾野木地区防災講演会 曾川切れから100年 頻発する水害を考える～防災、そして減災へ～



相次ぐ異常気象と豪雨災害、私たちが常に心がけるべきことについて、国土交通省信濃川下流河川事務所（木伏調査設計課長）から、信濃川下流域の現状と水害から身を守る対策等について講演をしていただきました。

平成29年9月10日（日）
曾野木中学校 体育館



曾川切れ写真パネル展

世代交流会

子供から高齢者まで世代を超えた交流（昔の遊び体験、ふれあい給食会）
平成29.6.24（土）曾野木公民館



マジックサイコロ（作成）体験



ふれあい給食会

社会福祉協議会地区別座談会

地域福祉活動計画の取組状況などの意見交換
平成29.9.12（火）曾野木公民館



曾野木3大祭りの開催模様

曾野木夏祭り

平成29年7月29-30日
曾野木1丁目地区内 榎木公園とその周辺



子供神輿
山車行列

カラオケ大会

第27回 曾野木夏まつり



ふれあい曾野木まつり

平成29年10月8日（日）
新潟市江南区嘉木 農家持ち寄り市場「採彩」周辺



子供神輿

俄運び
レース



曾野木いきいき夏祭り

平成29年8月19日（土）
そのき第三公園

ビンゴゲーム

健康ボール、金魚すくい





曾野木地区の変遷(村々の誕生から現在まで)

- 曾野木の村々は、江戸時代初頭、まず旧信濃川の自然堤防沿いに、その後内陸部の低湿微高地に誕生。
- 1889年(明治22年)、菅川村、天野新田、嘉木村などが合併して曾野木村が誕生。村名は菅川・天野・嘉木から一字ずつを採ったもの。
- 曾野木村発足から新潟市に編入時までの人口は、4千人強で推移。
- 曾野木地区が大きく変化したのは、昭和42年に始まった曾野木団地建設、その後の曾野木ニュータウン・新天野団地などの住宅建設。
- 結果、昭和50年代には、人口1万人超えに。その後、人口は徐々に増え続け、ピーク時は1万2千人超に。
- しかし、その後は少子高齢化の進展とともに人口は減少傾向に転じ、現在の人口は、ピーク時の約1割減の1万1千人割れに。

1600~1650年 (江戸時代、初頭)	1889年(明治22年)	1957年(昭和32年)	2017年(平成29年)
村々の誕生	曾野木村発足時 人口:約4,100名 世帯数:約600戸	新潟市に編入時 人口:4,188名 世帯数:571戸	10月末現在 人口:10,730名 世帯数:4,313戸
◆旧信濃川自然堤防沿いに誕生した村々	合子ケ作 楚川新田 菅川	楚川 菅川 (菅川より分立) 鐘木 天野	楚川 菅川 曾野木1丁目 曾野木2丁目 鐘木 天野 天野1丁目 天野2丁目 天野3丁目 嘉木 俵柳 祖父興野 久蔵興野 太右衛門新田 丸瀧新田
◆内陸部の低湿微高地に誕生した村々	天野新田	嘉木 俵柳 祖父興野 久蔵興野 太右衛門新田 丸瀧新田	嘉木 俵柳 祖父興野 久蔵興野 太右衛門新田 丸瀧新田 鍋瀧新田

1957年(昭和32年)合子ケ作村及び楚川新田の一部が西蒲原郡黒崎村へ編入(現在の西区山田、善久の一部など)

※新潟市住民基本台帳による

	人口	世帯数
楚川	648	227
菅川	856	342
曾野木1丁目	2,596	1,248
曾野木2丁目	1,346	530
鐘木	106	34
天野	485	164
天野1丁目	1,212	441
天野2丁目	705	268
天野3丁目	1,451	544
嘉木	264	83
俵柳	267	101
祖父興野	134	54
久蔵興野	72	30
太右衛門新田	73	26
丸瀧新田	177	58
鍋瀧新田	338	163

1860年(万延元年) 今の信濃川 (万延元年)

昔の信濃川(交流)

昔の信濃川(本流)

合子ケ作村

太右衛門新田
久蔵興野
祖父興野
俵柳村

楚川新田
菅川村

天野新田
嘉木村

丸瀧新田
鍋瀧新田
1901年(明治34年)までは山湯村

鐘木
1957年(昭和32年)までは菅川地籍

昭和01年 住居表示実施

平成02年 住居表示実施

平成03年 住居表示実施

※参考文献:新潟市合併町村の歴史 第4巻

自治会紹介

太右衛門新田自治会

自治会長 山我 徳治郎

太右衛門新田自治会は、戸数が18戸で、部落の大半が本家さんと分家さんから成り立つ歴史ある自治会です。

その太右衛門新田を432年もの間、部落住民を見守り続けて下さったのが、お地蔵様であり、また、384年の歴史を持つ日枝神社様でもあります。この度、そのお地蔵様が、仮称公園線延伸工事の用地買収に伴い移転を余儀なくされていました。

平成28年2月、市から低い評価での移転補償価格提示を受けた後に、総会と幾度かの臨時総会を経た中で皆さんから出た意見と要望を集約し、移転工事に着手をしました。移転費用の不足分については、部落の皆様方から快く寄付金を頂く事もでき、10月には、無事に日枝神社様隣地への移転工事を終える事ができ、翌11月1日には、恙無くお地蔵様の開眼法要を執り行う事ができました。

事ができました。

今、高齢化社会が進む中、この歴史ある、お地蔵様と日枝神社様を如何に維持し、如何にして守って行くかが、これからの大きな課題でもあります。

最後に、移転の際には、多く皆様方からのご協力を頂き心より感謝申し上げます。



移転工事を終えたお地蔵様

工事が進む公園線延伸

編集
後記



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本号から曾野木再発見のコーナーを設けました。初回は曾野木地区の変遷を取り上げました。今後も皆様方にご指導いただきながら、より良い広報紙の発行を目指し頑張りたいと思います。皆様のご多幸をお祈りいたします。 K.K

※この「曾野木地区コミュニティ協議会だより」は「新潟市地域活動補助金」を活用して作成しています。